

住民の声

大井川地区を
お訪ねしました！

大井川地区は、加持川地域の北西端に位置し、戸数14戸、人口28人の集落です。また、地区長によると65歳以上の方が大半を占め、地区内の行事も地区単独では出来づらい状況になっているとのことでした。お伺いした6月26日には、隣接の大屋敷地区が夏の花火大会の資金づくりの一助として取り組んでいる県道の草刈り作業が行われていました。

梅雨の最中とは思えない晴天に恵まれ、趣旨に賛同して参加した大井川地区からの応援隊も汗を流しました。



▲大井川地区からの応援隊も

◀手を止めてハイポーズ
(右端が秋森区長)



▲作業後の「飲みニケーション」が、地域の「元気のみなもと」です！



◀地域の守り神「嶋神社」



▲山際にたたずむ大井川地区(上2枚)

当地区は、戸数が少ない上に超高齢化の状況となっていますが、前々から当地域内の大屋敷地区や本谷地区との結びつきが強く、合同で様々な行事をこなして来ています。一例として、3地区合同で県道の草刈り作業を行い、毎年の花火大会の開催資金に充てています。また、3年ほど前に立ち上げて頂いた「集落活動センター」

秋森俊二区長の声

「ター北郷」についても、支援員の任期が切れた今後は、3地区の住民主体での運営を目指しており、地区代表による検討会も定期的に開いています。議会や行政への一言ですが、このような状況下で支え合い、頑張っている当地域の課題解決に向けて、より一層の取組みをお願いします。

編集後記

梅雨の長雨もやっと落ち着いた感じがありますが、九州地方では、未だに続く余震に住民の皆さんは心身共に疲労困ぱいの日々が続いております。そのうえ豪雨災害という度重なる災害を目にする、34mの津波想定をつき付けられた当町としても、他人事ではありません。

「備えあれば、憂いなし」の言葉どおり、普段からの心構えと対策が大切です。耐震補強における国からの50%補助は、平成30年を最後に、翌年からは11・5%に下がるようになります。早期の改修を目指したいものです。

(浅野 修二)

議会広報常任委員会

- 委員長 宮川 徳光
- 副委員長 藤本 岩義
- 委員 浅野 修一
- 同 池内 弘道
- 同 宮地 葉子
- 同 山崎 正男

黒潮町 議会だより・議事録は、黒潮町ホームページよりご覧になれます。

<http://www.town.kuroshio.lg.jp/>→黒潮町の紹介→議会→議会だより→バックナンバー

■発行人 高知県黒潮町議会
■編集 黒潮町議会広報常任委員会
■住所 高知県幡多郡黒潮町入野 2019-1 TEL(0880)43-2111(代)・(0880)43-2831(直)

■発行日 平成28年8月1日